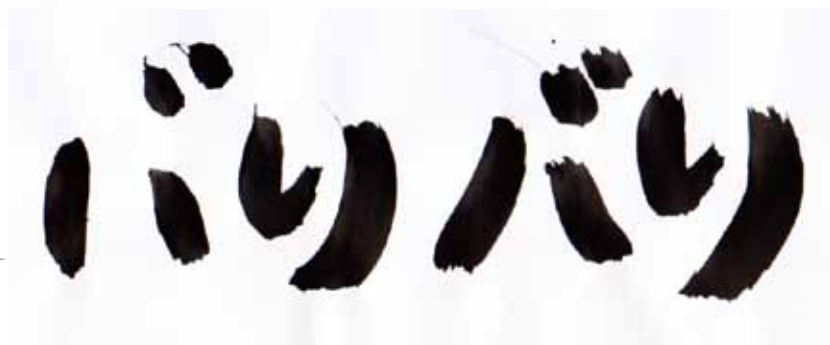


現役

60歳からの
人生設計

人生90年時代
元気に歳をとる秘訣
おしえます。



シニアのためのイベント開催

生涯現役フォーラム

11.28

土

11.01

12.31

ひくてあまた月間



くわしくは2ページをご覧ください。

横須賀市立
市民活動
サポートセンター

2015年
10月1日発行

(((すかっこの市民活動情報)))



● ひくてあまた月間

11月1日

横須賀市内近郊でおこなわれる
シニア向けのイベントバックアップ期間

12月31日

横須賀市近郊で活動している
市民活動団体は 500 団体以上！

11月から12月を、ひくてあまた月間とし、市内近郊でおこなわれる「市民活動」「生涯学習」「いきがづくり」の講座やイベントを全力バリバリでバックアップし、みなさんにご紹介いたします。

→ パンフレットは10月中旬発行。市内の各公共機関に置いています。

● 生涯現役フォーラム

11月28日 土

神奈川県立 保健福祉大学

健康で、地域で、いきいきと暮らす、生涯現役の秘訣を知る一日。介護予防の講演会、年金・法律・就労の相談、相続と資産運用などの実用的なセミナーや講演から、脳を鍛えながら認知症予防をする「コグニサイズ教室」もあります。

サポセンおすすめ これは 必見！

講義棟へ
Go!

目からうろこの講演会
午後1時30分スタート

サポセンと民間団体がおくる生涯現役フォーラムの講演会は、ゲストにNHKのテレビ番組『難解決！ご近所の底力』担当のチーフディレクターだった黒川敬さんをお招きします。

「ご近所の課題はシニア世代がひと肌脱ぐ」と題して、みなさんと楽しみながら、地域で求められていること、地域で活躍するためのヒントを探ってきます。

「ご近所の課題はシニア世代がひと肌脱ぐ」



講義棟 4階（階段教室）
講師 黒川 敬さん

食堂へ
Go!

午後12時15分から午後1時まで

食堂では、市民活動団体の活動紹介展示をおこなっています。

くわしい活動の内容を直接うかがうことができます。

シニアのお悩み
個別相談会も
やってるらしいよ

ボク 遺言書の作り方
おしえてもらうんだ!





～市民活動を支える人たち～

サポートセンター運営懇話会メンバー 吉田 正史 さん

毎年2月に行われる市民活動の祭典のたるんフェア、実行委員として、記録写真の撮影を中心に活躍する吉田さんにお話を伺った。

1977年横須賀市汐入に生まれる。地元の青葉小学校、坂本中学校に通った。外遊びが好きで、近くのはまゆう公園などで遊んだ「アウトドア派」だった。高校は、徒歩で30分ほどかけて三浦高校に通った。

高校卒業後、相模原の職業訓練校へ1年間、東京、中野坂上の職業訓練センターへ2年間通い、エクセルとワードなど、パソコンの技術を身につけた。障害のある仲間と共に学んだ。体育館で体を動かしたり、料理も勉強した。それなりに楽しかったという。

就職は、日本エアシステム（現 日本航空）、羽田で1年間勤務した。その後、関内にある東芝エレベーターへ転職、以来15年のキャリアになる。

市民活動のきっかけは、26歳のとき、小さい頃からよく通っていた中央図書館の書庫の見学を含むイベント「図書館の舞台裏を見に行こう」に参加したこと。主催していたみんなの図書館の会に加わった。

子どもの頃は、今ほど本を読まなかったが、まんが日本の歴史を読んで、歴史好きになった。電車で通学・通勤するようになり、たくさん本を読むようになる。戦国ものとか、幕末ものとか、偉人伝が好きという。本を読むようになって二十四節気など暦のことにも興味を持つようになった。

みんなの図書館の会から毎年、運営ボランティアとして、のたるんフェアに参加していた。そこで、実行委員を募集しているのを知り応募した。

しばらくして、みんなの図書館の会は解散したが、その後も実行委員の活動は続けている。「仕事とボランティアの掛け持ちは大変だけど、楽しいんです。」

という。フリーな立場で、記録写真を中心にした活動になった。大雪のときに、ダイエーのステージを撮ったこと、実行委員仲間の応援で、咸臨丸まつりの写真を撮ったことが印象深い。



そんな吉田さんは、横須賀についての情報募集があると必ずと言ってよいほど投書する。「わが町よこすか」では、吉田さんの投書がいくつか採用された。お酒が大好き、みんなで飲むのも好き、一人で飲みに行くのも好き。「そのときだけは、日常のいやなことは忘れられる。」

「今は、会社と家のことで忙しくて、時間をとれないけれど、横須賀を盛り上げる活動をしていきたい。」

今年の春に、吉田さんはお母さんを亡くした。とても優しいお母さんだった。生活の面でいろいろ手伝ってくれたこと。就職してから去年まで、毎春、二人で箱根の温泉に泊まりに行ったこと。一番の思い出という。

お母さんを亡くしたショックから、眠れないこともあった。母にしてあげられることはなかったのかと思い、もっとそばに居てあげたかったと後悔した。母の分まで一生懸命生きなければと思う。「今までは、母にいろいろ手伝ってもらっていたけれど、これからは、自分でやらなければいけない。」

抜群の記憶力といつも前向きな吉田さん、地に足つけながら、横須賀の町を盛り上げていてください。

(はこざき)

できました。

夏の市民活動・ボランティア体験 報告集

みんなの活動どうだった？

夏の市民活動・ボランティア体験とは、大学に行って学生に説明したり、ラジオに出たり、さまざまな方法で夏におこなわれるみんなの市民活動イベントをバックアップするプロジェクトです。報告集には、各団体の当日のようすや参加者の感想なども載っています。

サポートセンターに置いています。ぜひごらんください！



暑い夏がおわりました。のたるんもふっぴーもみんなの市民活動のPRにがんばったと思います！

サポセンを利用している人に聞きました。
横須賀に、ほしいものってなに？

元気・人口 その他
センス 広い視野
平和維持 基地の無い街

文化・芸術

100～200人客席の小劇場
単館映画館
駅前図書館
軍艦模型ギャラリー

100円バス
公衆トイレ

たこあげできる場所

町の設備

プレーパーク 森林公園

子育て

自校式の中学校給食

スポーツ

高校野球（甲子園）の強化

小さくていいからウォータースライダーのある公営プール

お店

大手商業施設

衣笠城

観光

動物園

みんなの場所

コミュニティーカフェ

個人が経営する個性的な商店・飲食店

ファミリーで宿泊できる施設

高齢者から子どもまで交流がもてる場所

軍港の資料館、博物館

海自とのコラボイベント



ところで、あなたが今一番
ほしいものってなに？

- マジンガーZのような破壊力
- 仲間
- 時間
- 子育てしやすい環境
- 原子力空母のない生活をする
- Apple Watch
- 人にめいわくかけないで勉強ができる場所
- 彼女
- 孫

アンケート結果をタグクラウド風に表示しました。

期間限定公開 アンケート結果はのたろんジャーナルをチェック★

おひるね

サポートセンターを7月に退職してから約1か月ずっと家で勉強をしていた。気が付けば、今年の夏は花火大会にも海にも出かけなかった。かき氷だってスイカだって食べていない……。もう大人だし別にいいでしょと思う気持ちもあるが、やはり少しさみしく感じる。そうだ！夏といえばコレ！そう「夏の市民活動・ボランティア体験」！8月もぎりぎりの8月30日に「北下浦みんなの家 天体観測室友の会」が主催する、星空ウォッチャー入門に参加することになった。

北下浦みんなの家には本格的な天体観測室があり、普段立ち入ることのできない天体観測室に入るチャンスはなかなか無い。当日はあいにくの天気で、北下浦の空はどんより曇っていて星を観ることはできなかった。残念な気持ちはあったが、それも天体観測室に入った瞬間、そんな気持ちは消えてしまった。まるで秘密基地のような空間に、PENTAXの本格的な望遠鏡。私は望遠鏡のぞきながら、小学生だったころを思い出していた。プラスチックでできた星座早見盤をお小遣いで買って、庭に出て懐中電灯で早見盤を見ながら母親に怒られるまで星を見ている子どもだった。そうなる望遠鏡が欲しくなってお年玉を貯めたのと、少し足りない分は父に出してもらった。でもいつの間にか望遠鏡のぞかなくなってしまうと、夜空を見上げることもなくなってしまう。

自分で組み立てることのできる星座早見盤もいた。ただ、すっかり小学生のころに戻ってしまった私は、帰り道にネットショッピングで二千円のお手軽な望遠鏡を買ってしまった。自宅に本格的な望遠鏡、観測室を手に入れるためには仕事をさらに頑張らねばならない。それまでは、二千円の望遠鏡で頑張るつもりだ。

(おおしまりえこ)



***** サポセンtopics トピックス

サポセンスタッフのご紹介

新しいスタッフが仲間入りしました。

やまもと
ゆかです。



みたに
ゆうこです。

おてやわらかに。

ふたりとも以前から市民活動をしていますので、のたろんのこともよく知っています。これからみなさんのサポセンでの活動のお手伝いもいたします。まだ戸惑うことがあるかもしれませんが、お気軽にお声をおかけくださいませ。

のたろんがお送りする「のたろんジャーナル」

- ◆サポセン発信情報（カメラ付き携帯で読み取れます）
 - ◆Eメール info@yokosuka-supportcenter.jp
 - ◆サポートセンターのホームページ
- 「のたろん Web」は「のたろん」で検索♪



のたろんジャーナル

のたろん

検索

情報誌「のたろん」秋号（通巻64号） 2015年10月1日

発行 横須賀市立市民活動サポートセンター

編集 指定管理者 特定非営利活動法人 YMC A コミュニティサポート

横須賀市本町 3-27（京浜急行汐入駅徒歩1分）

TEL 046-828-3130

FAX 046-828-3132

市民活動サポートセンターは、市民活動、ボランティア活動の打合せや作業、情報収集を行なう施設です。ご利用の際は受付にて利用票のご記入をお願いします。

